

さて、本論ですが、結論的には、いずれも使えます。可能性の低いものからならべると、possible ≤ likely ≤ probable となります。（不等号の=を取り除いて考えてください。）

possible は、理屈から考えて、ありうる、という意味です。

probable は、現実にあるであろう、という意味です。

likely は、ありそうだけど、その可能性は、probable ほどではない。

とても晴れているけれども、雨になることはありうる。というのは、
It is possible to rain today.

ちょっと、雲行きが怪しいなあ、雨になるかも。という感じが、
It is likely to rain today.

こんなに真っ黒に雲が覆っているのだもの。雨になるよ。
It is probable to rain today.